

## 江田島市政20年を迎える

令和6年度の予算は



## 島の未来を考える

小学6年生が議会を体験

市議会アドベンチャー

# 令和6年度 予算

可決

2月定例会では、予算審査特別委員会を設置し、令和6年度当初予算に関する議案を付託しました。予算審議で議員が特に気になった事業を、四つの重点項目（しごこの創出人のつながり・縁づくり、健康寿命の延伸、子育てしやすい環境づくり）とそれを支える二つの共通項目（DXの推進、暮らしの基盤整備）ごとに、議論の内容とともに紹介します。



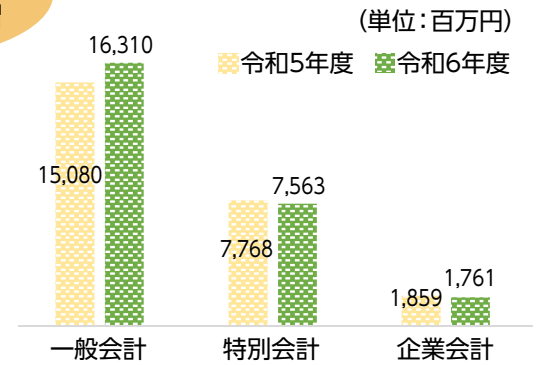
## 次なる10年を見据えた予算

総額

# 256億3,480万円

対前年度  
9億2,700万円増

令和6年度当初予算では、人口減少の抑制に引き続き取り組むため、四つの重点項目を施策の柱とし、第2次江田島市総合計画で掲げる「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」実現のための施策を進めます。



### 健康寿命の延伸

#### 医師確保支援事業

120万円

市内医療機関で婦人科医師を確保し、新たに医療サービスを提供することで、早期受診、相談、治療の継続、重症化の予防につなげ、市民の健康推進および負担軽減をはかります。

#### 議員から質問

Q 市の医療機関にて実施するめどが付いているのか。

A 現時点では予算を上げる段階です。

今後、市内の医療機関に周知を行い、手を挙げていただくという流れです。



### 子育てしやすい環境づくり

#### 放課後児童健全育成事業

6,278万円

就労などにより保護者が昼間にいない小学生に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成をはかります。

#### 議員から一言

放課後児童健全育成事業について、不足している児童補助員をシルバークリニカルから派遣を受けるとのことであるが引き続き人材確保に努められたい。



放課後児童クラブの様子

### つながりの創出

#### 6次産業化対策事業 地域特産品販売所の開設支援

300万円

6次産業化の推進のため、市6次産業化・地産地消推進協議会が中心となり、地域特産品販売所の開設を支援します。

#### 議員から質問

Q どのような施設で、開設支援とはどのようなことか。

A JJAひろしま江田島アグリセンター（飛渡瀬）の一部を活用し、施設の運営や特産品の販売を観光協会に委託し、観光振興の拠点とします。そのために必要な商品の陳列棚や、パーテーションなどの備品整備を支援するものです。



### 人のつながり・縁づくり

#### 企業版ふるさと納税 マッチング支援事業

50万円

本市の地域課題や各種事業に対する企業からの支援をマッチングする業務を委託します。

#### ふるさと納税事業

9,902万円

ふるさと納税による本市への応援および地場産品の返礼品を通して寄付者との縁をつなげます。

#### 議員から一言

委託事業者を変更してから寄付額的大幅な増加がはかられている。今後委託事業者や地元事業者と密に連携を取り、返礼品の掘り起こしや、安定的な事業運営に努められたい。



### DXの推進

#### 市公式LINE からの証明書請求

23万円

市公式LINEで、住民票や印鑑証明書、所得証明書等の発行を請求できるサービスを開始します。

#### 議員から質問

Q 申請後、本人確認と支払確認をしてから証明書等を郵送するとあり、時間を要するよう感じるがどうか。

A このサービスとは別に、令和8年度以降にコンビニでの交付も行うことができますように検討しています。



友だち追加



# 主な可決議案

- 予算**
- 令和5年度江田島市一般会計補正予算(第7号)および(第8号)ほか8件
  - 令和6年度江田島市一般会計予算 ほか9件
- 条例の一部改正・その他**
- 第3次江田島市総合計画基本構想案について
  - 平塩記念郷土館設置及び管理条例を廃止する条例案について
  - 江田島市児童公園設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
  - 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
  - 江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案について ほか18件  
三高等学校を三高小学校校舎内へ移転するもの
- 議員からの発議**
- 議会改革推進特別委員会設置に関する決議案の提出について
  - ①議会基本条例の検証、②議員の定数および報酬について、③議会活動の活性化について調査を行います。

# 閉会中の継続審査

- 江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案について  
令和6年度末で三高等学校を廃校とし、令和7年度から能美中学校と統合するもの

こんなことが決まりました！

# 2月定例会

会期 2/20～3/14

議案…… 44件  
 同意…… 1件  
 発議…… 1件



この中から六つを詳しく解説！

全ての議案名および議案の議員別賛否は、市議会ホームページでご覧いただけます。



定例会



議員別賛否

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます。



江田島市議会 中継 検索

# 暮らしの基盤整備

## 防災情報システム再構築事業

8億6,556万円

市民の生命・財産を守るための情報を伝達するとともに、状況の逼迫する災害対策本部業務の効率化をはかるため、防災行政無線の更新整備を含めた防災情報システムの再構築をします。

### 議員から一言

この事業は、市民の安全安心を守る重要な事業であり、予算規模も大きく2力年にわたる事業であるため、丁寧な事業実施に努められたい。



## 成年後見中核機関運営事業

148万円

成年後見制度の推進役として、地域連携ネットワークの中核となる機関を設置し、制度を必要とする人が円滑に制度利用できるように体制を整備します。

### 議員から質問

Q 現在、市社会福祉協議会の権利擁護センターえたじまにおいて、福祉サービス利用の援助事業や法人後見をされているが、どう変わるのか。

A 今までの取り組みに加えて、権利擁護を取り巻く地域のネットワークづくりといった分野における取り組みを拡充するものです。



# 予算審査での意見

下水道事業会計は、令和3年10月の料金改定を経て、使用料収入が約5000万円増えたが、処理施設や下水管などの更新に継続的に取り組む必要があり、突発的な不具合等により市民生活に甚大な影響を及ぼす恐れもある。引き続き、計画的な施設更新と適宜適切な維持管理に努め、コスト削減を意識した事業計画を検討されたい。



歳入について、財政調整基金を取り崩しながら予算編成を行っているが、財政調整基金にも限りがあることから、今後は予算の段階的な縮小に取り組む必要がある。事業の効果評価し、予算の削減がどのような影響を及ぼすかを検討しつつ、効果が低いものや目標達成されていない場合は、思い切った見直しや中止を望む。



予算審査報告書をチェック！



予算審査特別委員会は、令和6年度当初予算に関する議案を常任委員会の所管ごとに分割し、4日間にわたり慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり可決しました。本市総合計画に掲げる「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、限られた予算で最大限の効果をおげてくださいたくべく20個の意見を付けています。



上松英邦委員長



3/6 産業厚生分科会審査の様子

## Point 2

令和6年度末で三高等学校を廃校とし、令和7年度から能美中学校と統合する議案について、閉会中の継続審査を行います。

継続審査

この議案は、2月29日の本会議で総務文教常任委員会に付託され、3月14日の本会議で閉会中の継続審査とすることを決めました。

### 【閉会中の継続審査の流れ】

総務文教常任委員会  
（参考人から意見の聞き取りなど）

本会議で委員会の審査報告

本会議で採決



三高等学校

議案第26号 江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案について

## Point 1

三高等学校を三高小学校へ移転します。

三高等学校の校舎は、現行の耐震基準に適合しておらず、生徒・教職員の安全確保のため、三高等学校を三高小学校校舎内へ移転します。

【令和6年4月1日施行】

議案第42号 江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案について



Point 3

切串交流プラザ、江南交流プラザおよび津久茂交流プラザを設置します。

切串地区は、「切串公民館」を廃止し、旧山崎病院跡地に「切串交流プラザ」と「認定こども園きりくし」との複合施設を新たに設置します。

江南地区では、「江南ふれあいセンター」を廃止し、「江南交流プラザ」、津久茂地区では、「津久茂児童館」を廃止し、「津久茂交流プラザ」とします。

こんな質問が出ました

Q 交流プラザに名称を変えた理由は。

A 公共施設のあり方に関する基本方針に基づき施設の集約をはかっており、各地区からの要望を踏まえて地元協議を行い、合意形成がなされたためです。

Q 各交流プラザで住民票等取得はできるのか。

A 出張所の有無によりますので、切串交流プラザ、津久茂交流プラザでは取得可能です。



切串交流プラザ（1階）／認定こども園きりくし（2階）

議案第13号 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について

Point 4

切串児童公園と岡大王東児童公園を廃止します。

本市では、江田島市公園等管理活用計画に基づき、1地区1公園となるよう地区公園の統廃合について地元との話し合いを進めています。令和5年度より調整可能な地区から着手され、このたび2地区での児童公園の廃止が決まりました。

こんな質問が出ました

Q 市は児童公園廃止後の次の段階の計画はあるのか。

A 廃止する公園の次の利用が決まっていないうところが多くありますが、維持管理が問題にならないように草刈りなどをしていきます。



江田島市公園等管理活用計画



岡大王東児童公園



切串児童公園

議案第24号 江田島市児童公園設置及び管理条例の一部を改正する条例案について

Point 5

平塩記念郷土館を廃止します。

利用者がいない状況が続いているため、平塩記念郷土館設置及び管理条例を廃止します。

こんな質問が出ました

Q 今後、建物をリノベーションするなど、歴史あるものの活用を考えたのか。

A 歴史あるものとしての使い道の可能性があるので、しばらく壊さずに残します。

Q 展示物の管理はどのようにするのか。

A 大君まちづくり協議会が入っている旧大君小学校の空き教室に移転しています。



議案第30号 平塩記念郷土館設置及び管理条例を廃止する条例案について

Point 6

第3次江田島市総合計画基本構想が決まりました。

第3次江田島市総合計画は、本市の今後10年間（令和7年度～16年度）の目指す将来像とその実現に向けた施策を表したもので、まちづくりの指針となるものです。その基本構想では将来像として「豊かな恵みとぬくもりで、みんなが輝き活躍できる「えたじま」を掲げており、今後は実施計画として前期・後期の各5年間に分けて計画されます。

このことについては、令和6年1月25日付で江田島市総合計画審議会より答申されています。

こんな質問が出ました

Q 人口減少抑制が重点テーマにないのはなぜか。

A 四つの重点テーマは、八つの施策分野に沿って取り組みを進めていく際の共通のものであり、その取り組みの結果として人口減少抑制を達成しようとするものです。



小学生による未来の島の絵

議案第31号 第3次江田島市総合計画基本構想案について





古居 俊彦

### 災害時の避難所対応は！？

**答** 災害発生により市が開設するが、自主避難については、市役所・消防本部へ相談



**市長** 基本的に食べ物等は各自でご用意いただきますが、避難所での生活を余儀なくされた場合には、備蓄物資を提供します。備蓄物資は、飲料水や主食のほか、野菜シチューなどを備蓄しています。また、避難生活を行う上で、必要不可欠と考えられる毛布、紙おむつ、生理用品などの生活必需品も備蓄を進めています。

#### 問 避難所のライフライン確保の状況は。

**市長** 「一時避難所」は23施設、一時避難所のみでは受け入れができない場合や地震・風水害で大きな被害があった場合に、被災した方が一時、避難生活をする「拠点避難所」として21施設、一時避難所と拠点避難所のみでは受け入れができないなど、状況に応じて開設する「その他避難所」は、53施設を指定しています。本市で最も大きな被害が想定される、南海トラフ巨大地震が発生した場合、避難所への最大避難者数は5646人とされています。

#### 問 避難所は、何箇所くらい用意しているのか。

**市長** いち早く開設される「一時避難所」は23施設、一時避難所のみでは受け入れができない場合や地震・風水害で大きな被害があった場合に、被災した方が一時、避難生活をする「拠点避難所」として21施設、一時避難所と拠点避難所のみでは受け入れができないなど、状況に応じて開設する「その他避難所」は、53施設を指定しています。

#### 問 ペット同伴での避難は可能か。

**危機管理監** 災害時のペットの扱いについては、「同行避難」となり、避難所と一緒に過ごすことは難しく、ペットと人間は生活スペースを分けて、ケージや柵で囲った専用スペースを用意します。避難先の避難所がペット不可の場合もあります。

#### おわりに

災害の発生とともに避難所は開設されるが、もしも大災害が発生した場合、決して「公助」だけでは対応できず、長期化した場合、二次避難所、福祉避難所など、さまざまな形態で避難所が開設されるので、そのような計画・訓練についても、シミュレーションしてほしい。市民の皆さまにおいても、日頃から非常持ち出し品の用意や非常食などの準備を行い、災害に備えておく必要がある。



東日本大震災の一時避難所の様子



平川 博之

### 認知症の人との共生社会促進を！

**答** 福祉施策の理念である「一人ひとりが自分らしく輝き、共に生きるまち・えたじま」を目指す



#### 問 認知症検診の実施状況は。

**福祉保健部長** 認知症の早期発見をするための「物忘れ相談プログラム」という専用機器がありますが、導入できていません。今後、本市でも導入について検討します。

#### 問 本市の認知症患者数は。

**福祉保健部長** 認知症またはその疑いのある方は、1月末で1116人です。

#### 問 認知症の人に対する正しい知識や理解を深める施策にはどのようなものがあるか。

**市長** 皆さまへの認知症の理解を深めるために、「ふれあいサロン」や「通いの場」での出前講座、「認知症初期集中支援チーム」による相談会、講演会や映画上映などを実施しています。また、誰もが参加でき、認知症について気軽に話をしたり、知ることのできる認知症カフェを開催し、相談や支援も行っています。



#### 問 認知症対策は大変難しい課題です。今後「一人ひとりが自分らしく輝き共に生きるまち・えたじま」を目指し努力します。

**市長** 本市の取り組みとしては、「認知症サポーター制度」や江田島警察署と連携した、「認知症高齢者等の支援に係る相互連携協定」があります。認知症サポーターとは、認知症の方や家族の方を温かく見守る支援者のことで、サポーター養成講座を実施し、これまで1284人の方が講座を受講し、見守りの体制を整えつつあります。認知症対策は大変難しい課題です。今後も「一人ひとりが自分らしく輝き共に生きるまち・えたじま」を目指し努力します。



市の考えを問う

# 一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

### 質問者 8人

- 1 岡野 数正 重点項目「しごとの創出」の中で特産品販売所の開設とは！
- 2 古居 俊彦 災害時の避難所対応は！？
- 3 平川 博之 認知症の人との共生社会促進を！
- 4 長坂 実子 児童発達支援センターの設置を！
- 5 平本 美幸 地域建設業の振興や発展のさらなる支援を！
- 6 美濃 英俊 「協働のまちづくり」を明確に！
- 7 筧本 語 江田島市公園等管理活用計画の進捗状況は！？
- 8 上本 雄一郎 「里海教育」の推進により個性ある島人の育成を！



岡野 数正

### 重点項目「しごとの創出」の中で特産品販売所の開設とは！

**答** JAひろしま江田島アグリセンター（飛渡瀬）の施設を利用し開設



#### 問 令和6年度の重点項目の中に、地域特産品販売所の開設とあるがどのような考えているのか。

**市長** この施設は、運営を江田島市観光協会が担い、JAや市商工会などの関係団体と連携して、特産品や農産物などの物販機能を充実させるとともに、情報発信など、新たな観光拠点の場として活用します。

#### 問 この施設の利用条件、事業計画および事業費などはどうか。

**産業部長** 条件については、これからJAひろしまと協定を締結する予定です。事業計画および事業費については、令和6年度当初予算に、観光協会の事務所機能の移転と、特産物販売のための内装の設備変更を中心とした費用を要求しています。

なお、特産品販売の取り組みは、秋ごろの開始を予定しております。

#### 問 採算性や赤字補填について市の支援はあるのか。

**産業部長** 市は、特産物販

売所単独での採算性を判断した赤字補填を行うのではなく、各団体が行う事業を通じて運営を支援します。

#### 陀峯山 林野火災対策

**問** 出火防止対策の取り組みとして、ソフト面、ハード面の提案をしたい。ソフト面では、陀峯エリアを特別警戒区域に指定し、気象条件を勘案しながら時期・時間等を絞り込んだ上で定期的な警戒巡視体制を構築する。ハード面では、深江側からの林道周辺に防火水槽を整備してはどうか。



陀峯山林野火災

**消防長** ソフト面については、現在の取り組みの効果を確認しながら、このエリア特有の気象条件等を加味し、いち早い定例的な警戒巡視体制を構築します。また、ハード面については、ご指摘のとおり、林道の途中に防火水槽などがあれば、迅速な消火につながります。効果的な水利施設の充実はかかれるよう検討します。

#### 問 認知症の人が、安心して他の人々と暮らすことができる安全な地域づくりへの取り組みは。





### 「協働のまちづくり」を明確に！

**答** 地域課題の解決のために、さまざまな主体が一緒になってまちづくりに取り組むように進める



二つ目は「地域活動拠点の整備による地域活動・地域交流の促進」です。公共施設の再編整備により、旧町単位の市民センターを設置、併せて各地区に交流プラザの整備を進めています。これらの施設では、地域活動の拠点として、まちづくり協議会等の活動が行われています。

まず一つ目は「まちづくり協議会の設立による組織力の強化」です。自治会、女性会、老人クラブ等、さまざまな主体によるまちづくり協議会の設立に向けて、取り組んできました。

**問** 現在行っている具体的な取り組みは。

**市長** 具体的な取り組みは、主に三つあります。

**問** 第2次江田島市総合計画の将来像「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」における「協働」のイメージは。

**市長** さまざまな主体が一緒になってまちづくりに取り組むこと、これが第2次総合計画における「協働」のイメージです。



### 児童発達支援センターの設置を！

**答** 設置に向け、支援体制の整備を進める



**問** 令和3年度から呉障害保健福祉圏域でのサテライト型児童発達支援センターの設置に向けた協議が始まっているが、いまだに設置されていない。今後どのように進めるのか。

**市長** 令和6年度から3年間を計画期間とする第3期障害児福祉計画でも継続して検討します。市は三つの役割・機能を検討しています。①定期相談により、支援の届いていない児童や家族を適切なサービスや診断につなげる相談機能。②地域の障害児関連事業所への援助機能。③研修会や講演会を実施し、市民の障害への意識を高める地域のインフラ機能。

今後支援提供体制の整備を進め、障害のある子どもが身近な地域で安心して暮らせるまちづくりを進めたいと考えます。

**問** 本市では保護者が専門的な助言を受けられる相談窓口がなく、保護者への発達相談支援が求められているが、その対応は。

**福祉保健部長** 定期相談の中で、保護者の相談も受けたいと考えています。

**問** 身近な地域で医師の診断が受けられる環境が望まれている。児童発達支援センターへの配置や巡回型専門医派遣事業により、医師による定期的な診療体制はつくれないか。

**福祉保健部長** 発達障害の専門医の確保が難しい状況ですが、今後の協議の中でどのようなことが可能か研究します。

**問** 令和6年度、婦人科医の確保に取り組むが、安心して出産できる環境となるよう産婦人科医の確保に向けて取り組むべきでは。

**市長** 比較的医師の派遣が可能な婦人科の設置をまず支援し、本市の医療体制の充実と市民の通院負担の軽減に寄与したいと思えます。

**おわりに** 医療施設の整備を支援するなど、産婦人科医確保に力を入れる自治体もある。本市も将来を見据え、時間を要しても、前向きに取り組んでいきたい。



三つ目は、さまざまなまちづくり団体を支援する「補助制度の創設による活動支援」です。平成27年度から「協働のまちづくり地域提案型活動支援補助金制度」を創設し、市内の企業や個人事業主などを対象者として支援を広げています。

**おわりに** 令和6年度が第2次江田島市総合計画の最終年度のため、確認として質問を行った。また、厳しい財政状況の中で、江田島市行財政経営計画についても質問を行った。



### 江田島市公園等管理活用計画の進捗状況は！

**答** 令和5年度に単位自治会ごとの個別の協議を開始しており、今後も、持続可能な公園の再編整備を進める



**問** 市内業者が受注した場合、江田島市の経済効果は。

**総務部長** 市内業者が受注すれば、業者の売り上げが受注実績による評価の向上につながり、従業員にとつては身近に働く場があることで、雇用の確保による安定的な収入につながります。また、市内での消費にもつながり、税収の確保につながるものと考えます。

**問** 工事発注の平準化のため、年度初めから入札執行ができる体制づくりについての取り組みは。

**総務部長** 補助事業においては交付決定後の発注で難しいものの、市単独の建設工事については早期に着工できるように努めています。

**問** 入札指名業者の選定は。

**市長** 本市の入札は、「江田島市建設工事指名業者等選定要綱」に基づき、市内業者を優先的に指名しています。今後も「職場産業の育成」、「雇用の確保」という観点を踏まえ、適切な入札の執行に努めます。

**狭あい道路の整備**

**問** 市民生活に密着している狭あい道路の整備の現状および基準は。

**土木建築部長** 令和2年度以降、分筆登記の負担を要望者に求めています。次期「インフラ整備計画」を策定する中で、事業化を判断する基準の設定について、取り扱いを含め検討します。

**問** 狭あい道路の今後の整備は。

**土木建築部長** 緊急時・災害時に備えた整備を進めることは重要であると認識していますが、要望者にご協力をいただきながら、費用対効果等を踏まえた整備を進めていきます。

**おわりに**

地域経済の基幹産業である地域建設業者と行政が連携するとともに、職場産業の育成や、住み慣れた地域で安全安心に生活できる、魅力的で持続可能なまちづくりが必要である。



**市長** 本市の地区公園については、江田島市公園等管

**問** 公園等管理活用計画の進捗状況は。

**市長** 本市では、令和4年度から、公園等管理活用計画に基づく取り組みを本格的に再開し、公園の現況調査の実施、および各単位自治会を対象とした、公園に関するアンケート調査を行いました。

令和5年度は、5月に開催された、各町の自治会連合会総会へ出席し、これから自治会の皆さまと協議を始める旨の説明を行いました。6月以降、単位自治会との公園の再編整備についての合意形成を進めるため、個別の協議を開始し、切串地区、畑・岡大王・是長地区において、公園の統廃合を含めた再編整備について、合意をいただいています。

今後も、公園の利用状況やニーズに応じた持続可能な公園の再編整備を進めるため、引き続き、他の地区の皆さまとも協議を重ね、公園の再編整備を着実に実施してまいります。

**問** 再編対象公園の今後の利用方法は。

**市長** 本市の地区公園につ





# 市議会アドベンチャー

## 江田島市の政治に関心を持つ 江田島市議会の仕組みや役割を学ぼう



### 各校の意見発表内容

#### 切串小学校

本市のこどもの人口が減っていることについて、市としての考えを教えてください。

#### 江田島小学校

本市の魅力を増やすために3点提案する。

- ①本市PRイベントを開催すること。
- ②空き家を宿泊施設にすること。
- ③イベントを開催したり公園やプールなどで運動をしたりして、健康に過ごすことのできる施設を造ること。

#### 三高小学校

本市の魅力を発信したいと思っている人たちがつながらる機会をつくり、総合PRイベントを企画することを提案する。



#### 大古小学校

本市をもっといい島にし、「人口減少」や「空き家が多い」という課題点を解決していくために3点提案する。

- ①市内に道の駅を造ること。
- ②早瀬大橋を塗り直すこと、ライトアップすること。
- ③街灯を増やすこと。

#### 中町小学校

本市の魅力を伝えるランドマークを造ることを提案する。  
本市の魅力を多くの人に伝える取り組みがあれば教えてください。

#### 鹿川小学校

本市の人口減少を止める手立てを2点提案する。  
①空き家を人が集まる場所として活用できないか。  
②本市の魅力を伝えるCMや3分程度の広報番組を作れないか。

市内の小学6年生（開催当時）が、社会科授業の一環として市議会の仕組みや役割について学びました。令和5年度は、7月に議会棟の施設見学を行い、1月に議場で議会クイズを行ったのち、各校でより良い暮らしのために調べたことを市に提案・質問する意見発表を行いました。

次のページに市議会アドベンチャーを終えた児童の感想文を掲載しています。



上本 雄一郎

### 「里海教育」の推進により個性ある島人の育成を！

答 さらに充実、発展させていくことで、島の豊かな恵みをみんなで大切に引き継ぐ基盤づくりに努める



**問** 島に戻って改めて感じるのは、この島の豊かな自然環境であり、島の人たちの温かさである。この点は、新総合計画の基本構想をまとめる過程でも、島の強み、よいところとして多くの声が上がっており、今後も大切にすべきものとの指摘がなされたところである。ところで、本市の人口減少の動向を踏まえた場合、限られた資源を今後どこに振り向けるべきか。今日のわが国を取り巻く歴史的・社会的情勢を踏まえた場合、この島の強みとは何か。こうした点に思いを巡らせる際、「里海教育」のさらなる推進にこそ、課題に満ちた時代と社会を切り拓く端緒があるのではないかと考えるがどうか。

**市長** 「里海教育」は、これまで20年以上にわたり、教育委員会所管の「さとうみ科学館」を中心に展開してきた、地域の自然「里海」を教育資源とした、本市ならではの特色ある教育です。自然に親しみ、知的好奇心や探究心を育むとともに、自然環境への理解を深め、ふるさとへの愛着や誇りを持ち、豊かな心を育むことを目指して、市内全小学校



令和5年度さとうみサイエンスキャンプの様子

の5年生を対象とした「マリン・アドベンチャー」を実施しています。また、休日には自然観察会等も開催し、学校教育・社会教育の両面から、市内外、こどもから大人までの幅広い年齢層を対象に、直接体験を重視した学習の場や機会を提供してきました。さとうみ科学館の西原館長が日頃、口にしている言葉、「ふるさとの自然を知ること、ふるさとを語ることも、ふるさとを語る大人になる」というフレーズがあります。この言葉は私の心に強く響きます。こどもたちがふるさとの自然について学び、その豊かさや大切さを実感すること、本市の未来を担う大人へと成長することを願っています。

今後は、さらに「里海教育」を充実、発展させていくことで、美しい自然や地域資源等の島の豊かな恵みをみんなで大切に引き継ぐ基盤づくりに努めます。

### 調査研究レポート

#### 調査日・調査先

1/24 呉市議会広報委員会

#### 調査概要

議会広報特別委員会では、今後の活動展開の参考にするため、中核市議会議長会の議会報コンクールで最優秀賞を2度受賞した呉市議会の広報紙「チーム議会くれ」の制作過程や、その編集を担う広報委員会の運営状況について調査を行いました。

#### 報告内容

①「伝えたいこと≠知りたいこと」、②「伝えるのではなく、伝える紙」を目標として、今後さらに意欲的に取り組んでいきます！

「より親しまれ、より手に取ってもらえる広報紙」を目標として、今後さらに意欲的に取り組んでいきます！

①「伝えたいこと≠知りたいこと」、②「伝えるのではなく、伝える紙」を目標として、今後さらに意欲的に取り組んでいきます！

また、年4回分の「特集テーマ」を広報委員会であらかじめ選定して取材や執筆をしていること、費用対効果を意識し、また配布を依頼している自治会の負担を少しでも軽減するため紙質と紙の厚みを変更したことなど、新たな視点が得られました。広報委員会の役割とそれを支える議会事務局と印刷会社との役割分担の状況についても理解が深まり、今後、より効率的な委員会運営を考える上で、非常に参考となる実りある調査となりました。

「より親しまれ、より手に取ってもらえる広報紙」を目標として、今後さらに意欲的に取り組んでいきます！



活発な質疑がなされた



最優秀賞を受賞した「チーム議会くれ」第22号





切串小学校 福島 結海さん

私は、市議会アドベンチャーで、議会の仕組みを知ったり、実際に意見発表の体験をしたりして、政治に興味を持つことができました。

市議会クイズは、議会だよりの発行回数の問題だけ間違えて、5問中4問正解できました。議会だよりが発行されたら読んでみたいと思いました。

発表するのは緊張したけれど、市としての考えも聞けたからよかったと思います。江田島市も「人口（特にこども）が減っている」という問題について、いろいろ取り組んでいることが分かりました。私は、「ここ♡にこハウス」があるのを知っていたけれど、どんな施設かは知らなかった。具体的な活動が分かってよかったです。

議会の仕組みも、しおりやクイズでよく分かりました。市の政治に興味を持てるいい体験になりました。



鹿川小学校 田山 翔太さん

僕は、市議会アドベンチャーを終えていろいろなることを学びました。僕たちは「江田島の人口減少を食い止める」ために、二つのことを提案しました。一つ目は「空き家を住居目的だけでなく、人などが利用できるようにすること」、二つ目は「3分程度の広報番組を作ること」です。意見発表の場で提案したところ、市の方に「空き家の件は、お金がかかりすぎて難しい」と言われ、「3分程度の広報番組ならできるかもしれない」となりました。その時に、自分たちの意見が簡単に通らないということを知りました。

僕は、今まで政治は自分には関係ないと思っていましたが、この体験を通して政治に興味が湧きました。選挙の投票は、自分の1票に意味があると感じ、投票ができる年齢になっただけでなく、投票に行くようにしたいと思います。

この体験を生かし、もっと江田島の政治に関わっていききたいと思いました。自分でも江田島市のためにできそうなことを考えたいと思います。



江田島小学校 高先 颯太さん

僕は、市議会アドベンチャーで、はじめの言葉を言いました。すごく緊張しましたが、何とか言い切ることででき、ほっとしました。

意見発表では、みんなで考えた提案について、江田島市の企画振興課の方が丁寧に回答してくださり、とても分かりやすかったです。

今回の意見発表を通して、自分たちの調査が足りなかったことを実感しました。PRイベントについては、テレビなどで江田島市のPRイベントが紹介されているのは知っていましたが、実際にイベントをやっていたことについては知りませんでした。また、空き家を利用して施設を造ることに限らず、所有者の問題やお金の問題などについて、考えていってほしいです。

今後、何か提案する機会があるときは、その内容についてしっかり調べ、本当にこの提案でいいのかなどをしっかりと考えるようにしたいと思います。僕たちも6年後には選挙権がもらえます。この体験を忘れずに、政治について考えていきたいと思います。

今回の市議会アドベンチャーでは、市議会のことや江田島の課題について知ることができました。

市議会についてのことをクイズで知り、市議会の方々の話を聞いて、やはり人口減少が江田島市の一歩の課題であると考えていることや、人々の安全やみんなが満足する環境づくりを取り組んでいることが分かりました。

江田島市の課題に対して、僕たちにもできることはあると思います。この島をよりよくするために、僕たち市民も島づくりに協力しなくてはならないと思いました。例えば、市が行う島おこしプロジェクトに参加することや、学校でやったようにイベントを開催し、外部に江田島の魅力を伝えることだと思っています。

成人すれば僕たちも選挙に参加できるようになり、投票ができるようになります。僕は将来、政治に参加してよりよい島づくりについて真剣に考え行動していきたいと思っています。



三高小学校 佐々木 葉生さん



中町小学校 泊野 真弘さん

僕は、市議会アドベンチャーで、市議会について関心を持つようになりました。

1回目は、実際に施設を見学し、どのように議会活動が行われているかが学べることができました。一番印象に残っているのは、議長席に座ったことです。さまざまな話を聞いた後に座ると、責任の重さをとても感じました。

2回目は、「フンドマーク」の建設についての意見発表を通して、実現するためにはたくさん課題があり、さまざまな視点で改善していく必要があると感じました。「建設費をどのように集めるのか」、「景観を崩さないためにどのような工夫が必要か」などを改めて考えてみたいと思いました。僕たちが、どうしたいかやどう動くかをさらに深めていき、江田島をよりよくしていきたいと思いました。

市議会アドベンチャーを通して、知らないことをたくさん知ることができたのでとても良い経験になりました。

1月の市議会アドベンチャーでは、総合的な学習の時間に学んだことを基に、議会に私たちの考えを提案しました。自分たちの考えを議会発表すること、江田島市の考え・取り組みを知ることが貴重な体験になりました。

江田島市について学ぶ中で、いろいろな課題があることを知りました。その中でも人口減少、空き家の増加、交通手段が少ないことが大きな課題だと私たちは捉えました。そこで、三つのことを提案しました。多くの人に来てもらうための駅を造ること、早瀬大橋をライトアップすること、星空に優しい街灯を増やすことです。私たちの考えに賛成してくださったこともあったので、うれしかったです。星空に優しい街灯を増やしていきたいという提案に対して、岡山県井原市の星空に優しい街灯を参考にしていきたいという回答だったので、今後は楽しみです。江田島市の課題を解決するために私にもできることは、積極的に取り組んでいきたいと思っています。



大古小学校 若狭 瑚青さん



# 教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？  
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！

## 今号の質問者

江田島市アダプト制度キャラクター  
**アダプトくん**

アダプト制度とは？  
地域の皆さんがボランティアで行う  
道路の清掃活動などを行政が支援し、  
二人三脚で行うまちづくりの制度。



アダプトくん

財政調整基金って何のことなの？  
何だか難しい。。

財政調整基金は、急な災害等で急に大きなお金が必要になった  
場合や、年度途中で財源が不足した場合に備えて積み立ててお  
く基金のことだよ。みんなの家の貯金みたいなものだね！



委員



アダプトくん

なるほど！ 貯金か～！  
じゃあ江田島市は今いくら貯金があるの？

良い質問だね！ 令和4年度の決算時点では46億4,647万円積  
み立てられているよ。



委員



アダプトくん

46億円！ 大切にしていけないといけないね！

そうだね。これからさらに人口は減っていくので、自由に  
使うことのできるお金は限られてくるから、大切にしてい  
かないといけないね。しっかりとチェックしていくよ！



委員

次回定例会は、6月中旬ごろに行われる予定です。詳細は、定例会が開催されるおおむね  
1週間前に江田島市議会ホームページに掲載します。

※予定は変更する場合があります。



## 編集後記

桜の花が散り葉桜の時期  
となりましたが、皆さまに  
おかれましては益々ご健勝  
のこととお慶び申し上げます。

さて、今年は江田島市政  
20年の節目の年であり、次  
なる10年へ向けたスタート  
の年でもあります。今号で  
は、令和6年度予算審査と  
市議会アドベンチャーの特  
集としており、次なる節目  
に向けた1年目の予算審査  
の状況と、次の時代を担う  
こどもたちの議会での様子  
や感想をご覧いただけたら  
幸いです。

引き続き、議会だよりを  
通じて市政の情報に関心を  
持っていただけけるように、  
議会広報特別委員会では活  
発に議論を重ね、広報紙作  
りに取り組んでいきます。  
市民の皆さまにおかれまし  
ては、ご指導ご鞭撻のほど  
よろしくお願ひ申し上げます。

宮下 成美

## 議会広報特別委員会

- 委員長 宮下 成美
- 副委員長 上本 雄一郎
- 委員 長坂 実子
- 委員 古居 俊彦
- 委員 美濃 英俊
- 委員 筧本 語

●発行／江田島市議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●問い合わせ／江田島市議会事務局

〒737-2193 広島県江田島市江田島町中央1丁目1番1号 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315